

北勢

北勢エリアは三重県の北部に位置し、豊かな自然と国内屈指のテーマパークを楽しむことができる。



関宿 東の追分



東海道と伊勢別荘道の分岐点。旅人が伊勢神宮を拝するたための大鳥居が建つ。この鳥居は伊勢神宮内宮にあったものを譲り受けるもので、これがお木曳行事である。県指定史跡。

七里の渡



尾張熱田の宮から海路七里あったことから「七里の渡」と呼ばれた。宮までの所要時間は潮の干満により航路が異なるが、3~4時間はかかったようだ。これより伊勢路に入るの江戸時代中期の天明年間に「伊勢国一の鳥居」が建てられ、以来神宮の遷宮ごとに建て替えられている。

御在所ロープウェイ



全長2161m、高低差780m、所要時間12分の空中散歩が楽しめる世界有数の規模を誇るロープウェイ。春はツツジの花が咲き誇り、夏は納涼とアカトンボ、秋の紅葉は10月中旬から11月下旬まで楽しみ、赤・黄・褐色の濃淡の色彩が山を彩る。

湯の山温泉



歴史は古く、養老2年(718年)浄兼和尚が薬師如来のお告げにより発見されたと伝えられ、傷ついた鹿が傷を癒したという伝説から別名「鹿の湯」とも言われている。泉質は、アルカリ性ラジウム泉。胃腸病、神経痛、外傷に効果的、また美肌の特效薬ということもあり美人の湯として女性に人気がある。

青蓮寺湖



青蓮寺川に建設された青蓮寺ダムは奇勝香落溪の玄関口にあり、春の桜や秋の紅葉など四季折々に美しい姿を湖面に映しだしている。また、周辺環境整備により、テニス、パドウォッチング、ブラックバス釣り等も楽しめる。

伊賀

伊賀エリアは三重県の西北部に位置し、伊賀流忍者や松尾芭蕉のふるさととして知られている。



道の駅 菟野ふるさと館



お茶、石燈籠、陶磁器など菟野町の特産品を即売。ここの万古焼や、町内で産出されるこもの石を使った灯ろう、菟野の豊かな自然にはぐくまれた菟野茶、寒中に生産される手延べそうめんなど、菟野が生み出した名産品を展示即売。来館者には菟野万古焼の湯呑みで菟野茶のサービスあり。

香落溪



名張川の支流青蓮寺川に沿う香落溪は、斧で断ち割ったような柱状節理の岩壁が約8キロにわたって続き、秋には全山燃え立つような紅葉が時のたつのも忘れてしまうほどのすばらしさ。

道の駅 関宿



東海道五十三次「関宿」の玄関口にふさわしい町屋風の造りで、江戸時代をタイムスリップしたような情緒ある野理筑の駅。

中勢

中勢エリアは三重県の中央部に位置し、行政の中心地であり全国的に有名な松坂牛の産地でもある。



青山高原



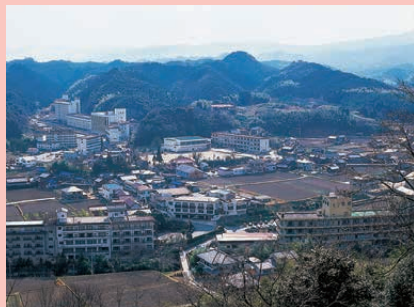
室生赤目青山国定公園の中心にある、起伏のゆるやかな高原で四季折々楽しめる。春はアセビ・ツツジの群生が咲乱れ、続いてナデシコが赤い小さな花を見せ、秋はススキの白い穂をなびかせ、冬の樹氷も美しい。高原北端の笠取山から青山峠まで、約12kmの高原ドライブが楽しめる。頂上付近には数十基の大規模な風力発電施設となっており、すぐ近くまで寄ることができ、迫力があるため必見！

赤目四十八滝



日本の滝百選、森林浴の森100選、遊歩百選、平成の名水百選の赤目四十八滝。伊賀流忍者たちの修行の場所でもあったといわれるなど、多くの伝説が残る神秘的な渓谷は、大小さまざまな滝が四季それぞれの表情で私たちを魅了してくれる。

榊原温泉郷



清少納言の「枕草子」117段に、「湯はななくりの湯、有馬の湯、玉造の湯」と謳われている。この「ななくりの湯」こそ榊原温泉なのです。京の都では、温泉の代名詞にたとえられていた名湯。

白藤の滝



落差が15mの滝が断崖の岩間を滑り落ちる。滝の周囲は紅葉をはじめとする紅葉樹に囲まれているため、赤や黄色の紅葉が滝に彩を加える。

奥香肌峡



榊田川の源流所にあり、そのままの自然が残る渓谷。渓谷沿いを更に上流に向かうと奥香肌湖、蓮川が現れる。流れ落ちる滝が見事な渓谷美を構成する。

錫杖湖



安濃川の水源地にある美しいダム湖。周辺には公園などが整備され、錫杖湖水荘近くのふれあい公園にはローラーすべり台やテニスコート(有料)があります。水位が下がると湖面から石のだるまが現れ、ユーモラスな表情を見せる。

大台町 宮川ダム



大杉谷にあり、上流が四方に分かれた細長い人造湖。紅葉の名所としても有名で、また大杉谷峡谷や大台ヶ原への登山口としても知られる。

道の駅 奥伊勢木つつ木館



木と人とのふれあいの空間としての機能を持つ施設。木工芸品、インテリア、住宅用製材品などの展示販売、住宅建築、木工製品の開発企画などに対する相談のほか、施設の機材を利用して木工芸の創作作業を自由に行うことができる。

道の駅 飯高



「松坂市飯高町は町の三方を1,000m級の山(37山)に囲まれ、初心者から上級者まで自分の体力に合わせた登山や山岳競技が楽しめる。また、春は野鳥のさえずりと新緑、夏は源流の滝しぶきと涼風、秋は紅葉と応用の落ち葉道、冬は霧氷と樹氷の銀世界と、四季折々の自然の美しさ、すばらしさを体感できる。

道の駅 美杉



「人に優しい純木造建築」バリアフリーの『道の駅美杉』。美杉材の販売、展示、美杉地域の特産品の販売を行う場、また各種食事、ソフトクリームなども楽しめる。国道368号や伊勢本街道、森林セラピーコース、北畠神社などを利用する観光客の憩いの場として活用されている。2008年に東海地域で最初の森林セラピー基地で認定された健康の郷美杉の拠点施設の一つになっていて、セラピーコースの案内資料の設置などのサービスを提供。また、秋には毎年恒例の『道の駅美杉サンクスフェスタ』イベントを開催。ビンゴゲームや福引抽選会、物産展などで大賑わいとなる。

伊勢志摩

伊勢志摩エリアは三重県の南東部に位置し、伊勢神宮をはじめ観光地として全国的に有名な場所である。



横山展望台



鶴方の西方、標高203mで英虞湾が一望できる。遠く熊野方面から朝熊山も見える志摩地方の全方向展望台。尾根に沿って4つの展望台があり、南方に広がるあご湾を一望する眺めは伊勢志摩でもトップクラスの素晴らしい。

伊勢志摩スカイライン



山頂の15万㎡の広大な苑地には朝熊七草や神宮つつじなどの季節の草花を楽しむことができる。展望台には展望足湯もあり、伊勢湾の雄大なパノラマや中部国際空港、快晴時には遠く日本アルプスや富士山を眺望することができる。山頂近くには、昔から「お伊勢参らば朝熊をかけよ・・・」と詠われた南禅寺派の名刹「金剛證寺」がある。このお寺は伊勢神宮の鬼門を守るお寺として神宮の奥の院とも言われている。本堂は重要文化財に指定されており、日本3大虚空蔵菩薩の1つがおまつりしてある。伊勢神宮の鬼門を守る歴史が息づく朝熊岳金剛證寺がある。

道の駅 奥伊勢おおい



企画力と実行力で、まちを元気にする地域発信の場。必ず立ち寄りたくなる個性ある道の駅。館内では、季節の野菜を中心に、椎茸、大台茶、大内山の乳製品、宮川の鮎、木工製品等、大台町、大統町、多気町の特産品を販売。食堂も麺類、定食等と充実し、特に「今日の駅弁(平日のみ 35食限定)」は人気がある。また、作りたての総菜の提供も始めた。また、日曜には「奥伊勢わいわい市」を開催し、地域の農産物等の試食会を実施しております。奥伊勢の情報ステーション・道の駅奥伊勢おおいで、奥伊勢の休癒をお茶で一服どうぞ。

道の駅茶倉



榎田川の清流が一望できるロケーションにあり、特産品(お茶、しいたげ等)や新鮮な野菜の販売をおこなっています。また、マルチビジョンによる道路、観光、ふるさと情報等の情報提供等も行っている。

大王埼灯台



伊勢志摩国立公園の南東部に大王埼灯台は位置し、輝く白亜の灯台と石坂の町で有名。海岸段丘の景勝地としても名高い大王埼にたつ灯台。熊野灘、遠州灘の境目を表す灯台で昭和2年に当時としては最先端の灯台として建てられた。灯台上部へは一般の方も登り観望する事ができる。

風の強い日は昇ることはできないが、志摩半島と太平洋、そして神島など遠方の島を望む事ができ、沖から来る船がマストの先端から現れることを実感できる事から、地球の丸さわかる岬としても知られている。

鶴倉園地



伊勢志摩国立公園特有のリアス式海岸等、大自然の魅力が楽しめます。あけぼの展望台からは親子大橋、見江島展望台からはハート型の湾を見ることができ、展望台によって見える風景が異なるのももちろんの事、気候や天候によっても様々な顔を見せてくれる。

鳥羽マリンターミナル



鳥羽の海の玄関口、鳥羽マリンターミナル。外観は真珠のネックレスをイメージした曲線のデザイン。建物内には、ホールや海が眺められるデッキもあり、隣接する緑地公園から見る三ツ島は絶景である。

鳥羽湾めぐり観光船「龍宮城」



鳥羽湾めぐりの定期観光船(20~30分間隔で動航)は鳥羽湾の中で最も風光明媚な「志摩の松島」めぐりのコースを巡り、途中「イルカ島」と「真珠島・水族館前」に寄港する1周50分コース。(運賃:大人 1,500円 小人 750円)

天の岩戸



全国名水百選に選ばれた場所。天照大神が隠れ住まわれたと伝えられ、木立に囲まれ水が湧き出る岩清水は名水百選に選ばれ、禊湯と呼ばれる湯は修行者を迎えている。

安乗埼灯台



珍しい四角形の白亜の灯台。映画「喜びも悲しみも幾歳月」の舞台になった。灯台は昭和23年に建設。周辺の安乗岬園地は芝生広場となっている。天気がよく富士山が見える。

東紀州

東紀州エリアは三重県の南部に位置し、世界遺産熊野古道や豊かな自然に恵まれた非常に魅力あふれる地域。



花の窟神社



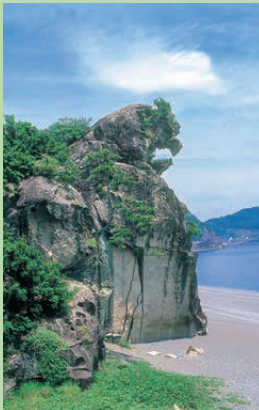
「花の窟」は720年(奈良時代)に記された日本最初の歴史書である『日本書紀』の神代第一で「国産みの舞台」として登場している。この地は熊野三山信仰に先立つ古代からの聖地「窟の熊野」として重要な意味を持っており、まさに日本人のルーツといえる場所。歴史書には花の窟から御神宝を本宮大社へ移したことが書かれている。日本書紀に記されている事柄そのままに、今も毎年2月2日と10月2日には、例大祭が行われ、多くの方が参拝に訪れる。

七里御浜



熊野市から紀宝村に至る約22Km続く日本で一番長い砂礫海岸で、これまでに「日本の渚百選」や「21世紀に残したい自然百選」など全国の景勝地と並んで選ばれている。

獅子岩



巨大な獅子が海に向かって咆哮するような姿をした高さ25mの奇岩。国の名勝・天然記念物。側を流れる井戸川の upstream に鎮座する大馬神社の狛犬として隣の神仙洞と共に位置付けられている。

鬼ヶ城



隆起と風化と波の浸食によって生じた自然の芸術で、熊野灘に面して延々1Km続く。国の名勝・天然記念物。山頂には、戦国時代の城跡があり、熊野古道・松本峠と連結するハイキングコースが整備されている。鬼の見晴台といわれる展望台からは、熊野灘が一望できる。山頂へ通じるハイキングコースは一面、桜が植えられており、春になると、4種類の桜が次から次へと開花して長期間訪れる観光客の目を楽しませる。

道の駅 紀宝町ウミガメ公園



「紀宝町ウミガメ公園」ウミガメふれあいパークは、ウミガメを飼育展示しており、本物のウミガメが泳ぐ姿をプールの上からも水中窓からも観察することができる。他に熊野灘を泳ぐ海水魚類水槽や海辺の生き物に

触れ合えるタッチングプールも人気。また、実際にウミガメに触れ合えるイベント等も開催している。(入場無料)物産販売コーナーでは、地元で採れた農産物などを数多く販売している。さらに軽食コーナーでは地元の食材を使ったお食事をお手ごろな値段で、そして美しい熊野灘を眺めながら楽しむことができる。

飛雪の滝



浅里神社の西隣に位置するこの滝は、高さ30m、幅12m。文字通り風が吹けば飛ぶ雪のように美しい滝。周辺にはキャンプ場、遊歩道も整備されている。

丸山千枚田



丸山地区には小さな何枚もの水田があり、千枚田と呼ばれている。「一枚足りないと思ったら笠の下にかくれていた」といわれる位小さな田が幾重にもかさなり合って、その数、約1300枚強と言われている。

お網茶屋



花の窟にちなんだ商品の販売や食の提供を行う施設、花の窟の歴史・由緒を伝えるための資料館など魅力ある花の窟周辺整備を行い、通過する観光客を誘客し、滞在時間の延長を図り、地域への経済波及効果を高めることを目的として平成24年4月20日(金)オープン。

道の駅 きのくに



隣接する木工場で生産される木工品、那智黒石、干物等の展示販売がある。都会に疲れたらウッドイー・ワールドへ!

道の駅 パーク七里御浜



「国道42号の海が見えるオアシス。紀南地域の情報コーナーのほか、ミカンをはじめとした特産品などの販売・レストラン・ショッピングセンターもあり、お買い物に・お食事にとっても便利。ここでは陶芸などの体験もできる。